

登録コード:MH404100 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目 必修
科目名	基礎作業学実習 【20M以降】 Basic activities practice		
担当教員	田中 佐千恵 務臺 均・岩波 潤		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	作業療法学専攻 / 1年生 後期 金曜・3時限 金曜・4時限		
単位数、講義室	1 単位	保健学科OT実習室 保健学科多目的実習室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標
	MH20カリ・保健		
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。	各作業種目の作品制作を通じて基礎的な知識・技法を習得し実践することができる。	
	MH25カリ・保健・作業、MH23カリ・保健・作業		
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。	各作業種目の作品制作を通じて基礎的な知識・技法を習得する。対象者への指導をイメージしながら作品を制作することができる。	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	各作業種目の作品制作に際して、創造力を駆使して様々な作品の制作にチャレンジしていく探究心を習得し実践することができる。	
授業で学べる「テーマ」	芸術文化、健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	作業療法の治療手段となる基本的な作業活動として、陶芸、編み物、革細工、七宝焼など作品制作を通して体験学習し、各作業の基礎技法を習得します。 本授業は、2年次の「作業療法評価学実習」、3年次の「作業療法治療学実習」、4年次の「臨床実習」「臨床実習」における重要な基礎知識となります。 本授業は、各担当教員における医療機関や施設における作業療法士としての実務経験や専門家の実務経験を活かして講義を行います。		
授業計画	第 1回（10月 2日）陶芸 （金井先生） 第 2回（10月 9日）陶芸 （金井先生） 第 3回（10月16日）陶芸 （金井先生） 第 4回（10月23日）陶芸 （金井先生）3限のみ 第 5回（10月30日）陶芸 （金井先生）3限のみ 第 6回（11月 6日）編み物 （田中） 第 7回（11月20日）編み物 （田中）（在宅学習） 第 8回（11月27日）編み物 （田中） 第 9回（12月 4日）これまでの知識の復習（在宅学習） 第10回（12月11日）革細工 （田中） 第11回（12月18日）革細工 （田中） 第12回（12月25日）革細工 （田中） 第13回（ 1月 8日）革細工 （田中） 第14回（ 1月15日）七宝焼 （岩波） 第15回（ 1月22日）七宝焼 （岩波）、授業アンケートを実施		
授業の進め方	作業ごとに担当教員や指導者の指示に従って、作品を制作する実習を行う。 原則実習科目は全て出席する必要がある。 陶芸（金井三和先生）は外部の講師をお願いしています。		
テキスト、教材、参考書	テキストや教材は授業の中で紹介する。 参考図書 ・日本作業療法士協会編：作業 - その治療的应用 - （協同医書出版）		
成績評価の方法	作業活動ごとに評価を行い、その合計を総合評価としてすべての授業が終了後に判定する。 各作業の評価は、実習（準備・片付けを含む）に対する取り組む姿勢・態度30％、完成した作品の質および量70％で評価する。 達成目標の1～3については、授業、作品で評価します。		
成績評価の基準	総合評価の判定基準は以下の通りとします。 90-100点：秀 80-89点：優 70-79点：良 60-69点：指示された作品が作成でき、準備片付ができれば「水準にある(可)」，作品のでき栄えがよく、準備片付ができれば「やや上にある(良)」，作品のでき栄えがよく、準備片付ができ、クラスメートへの指導もできれば「かなり上にある(優)」，作品のでき栄えが講師の作成レベルまたは完全に設計図通りの作品が完成でき、準備片付、複数のクラスメートへの指導もできれば「卓越している(秀)」。 レポート作成や企画案の検討において生成AIを利用することは妨げませんが、AIの回答をそのまま提出することは不正行為とみなします。利用した場合は必ず出典を明記し、専門職としての責任を持って内容の正確性を確認してください。		
事前事後学習の内容	【事前学習】		

事前事後学習の内容	次回の作業種目における基礎技法の要点を確認しておく。 【事後学習】 授業で教示された方法をテキストや資料を参考に復習しておく。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要です。
学生へのメッセージ並びに質問 , 相談への対応	「作業活動」は作業療法の基礎となるものである。集中して実習に取り組み、作品制作を通して、ものを作る「楽しさ」「喜び」を実体験してほしい。 質問や相談は、南校舎2階にいる各教員が随時受け付けますが、教員が対応できない場合には、E-メールでの質問を受け付けます。 メールアドレス：務台：hitmutai@shinshu-u.ac.jp 岩波：iwanami@shinshu-u.ac.jp 田中：sachifuk@shinshu-u.ac.jp